

決算説明資料

2020年3月期 第2四半期

インヴァスト証券株式会社

四半期決算概要 (2019.7～9)

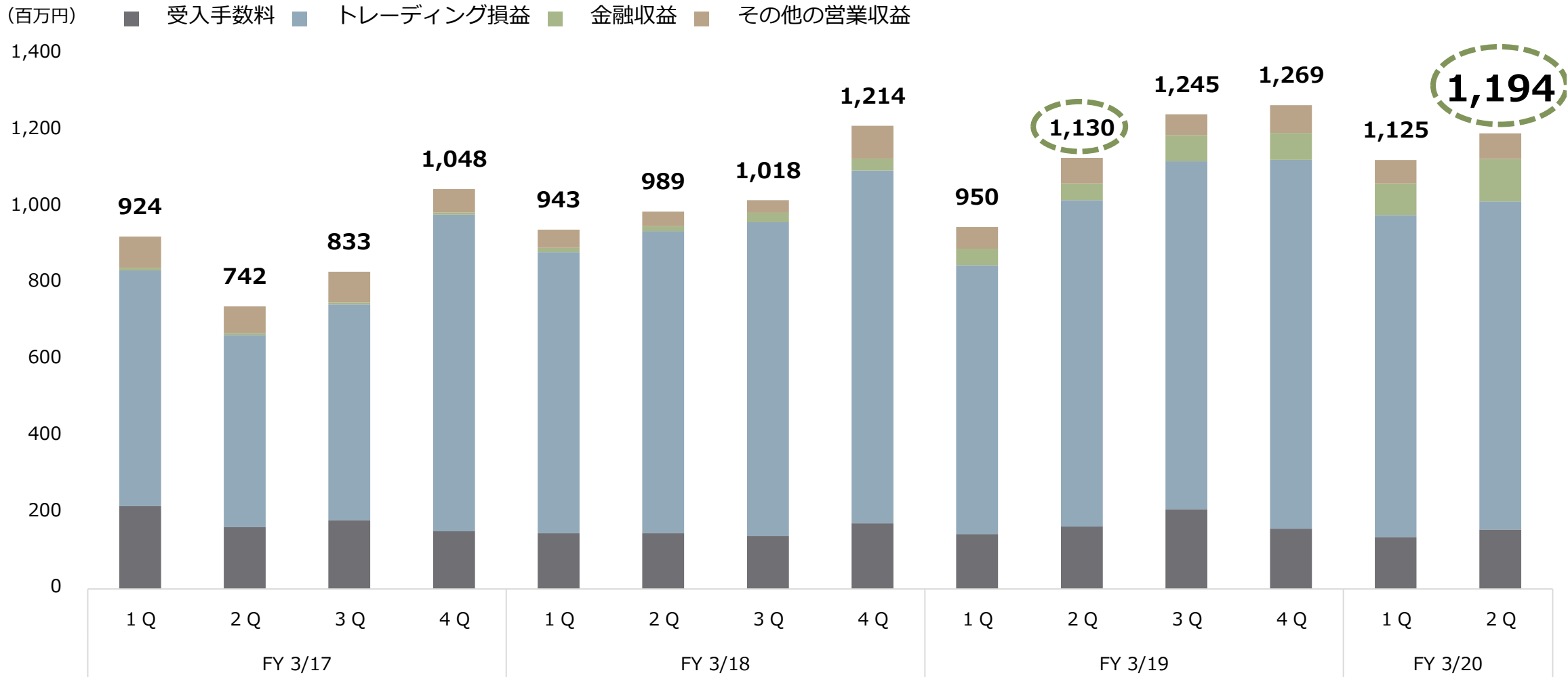
第2四半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2019年3月期 2 Q (2018.7-9)	2020年3月期 2 Q (2019.7-9)	対前年同期 増減率
営業収益	1,130	1,194	+5.6%
純営業収益	1,093	1,128	+3.2%
営業損益	171	△111	—
経常損益	162	△90	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	123	△65	—

営業収益の内訳

営業収益は、前年同期比+5.6%の11億94百万円

当社単体では前年同期比△20.7%の減収となった一方、豪州子会社の収益拡大により増収



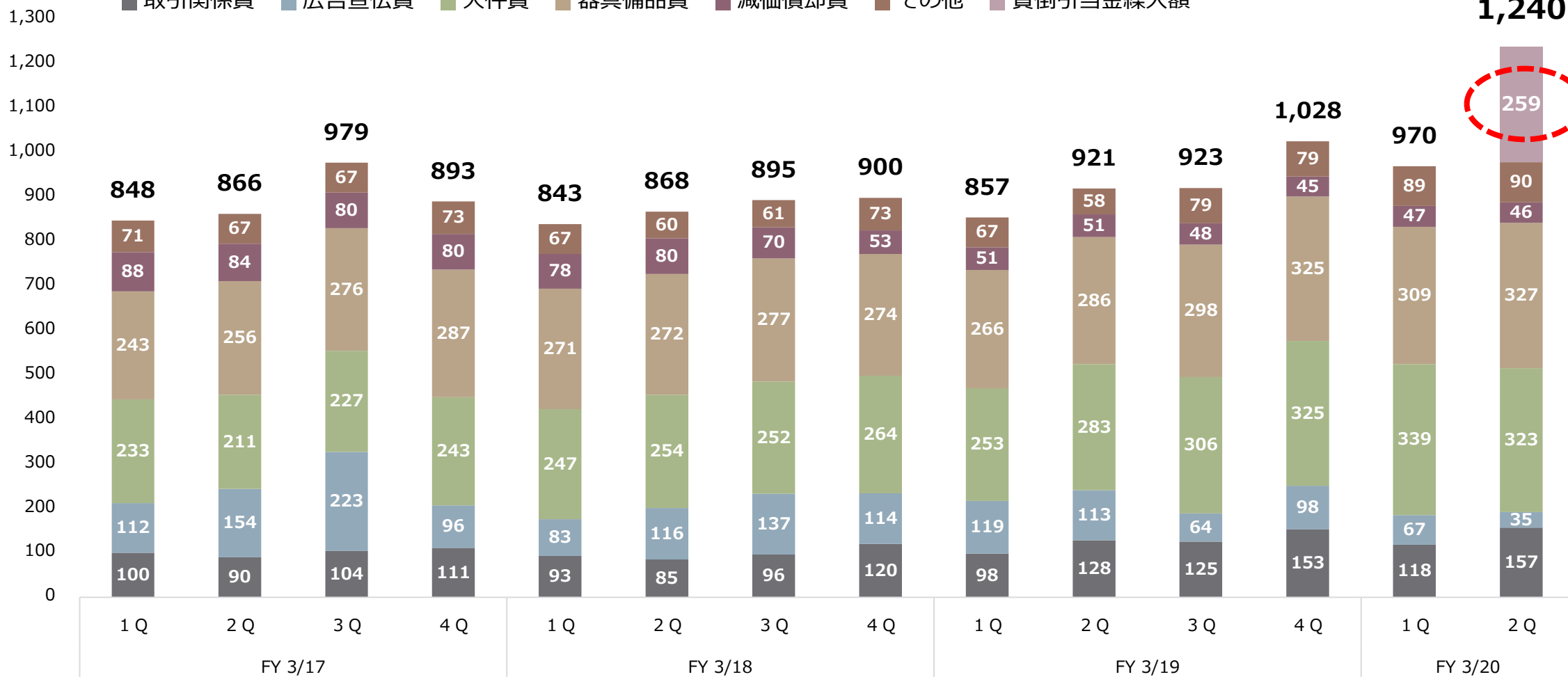
販売費・一般管理費の内訳

販売費・一般管理費は、前年同期比+34.5%の12億40百万円

豪州子会社の顧客決済不足金（立替金）に対する貸倒引当金繰入額259百万円を計上

(百万円)

■ 取引関係費
 ■ 広告宣伝費
 ■ 人件費
 ■ 器具備品費
 ■ 減価償却費
 ■ その他
 ■ 貸倒引当金繰入額

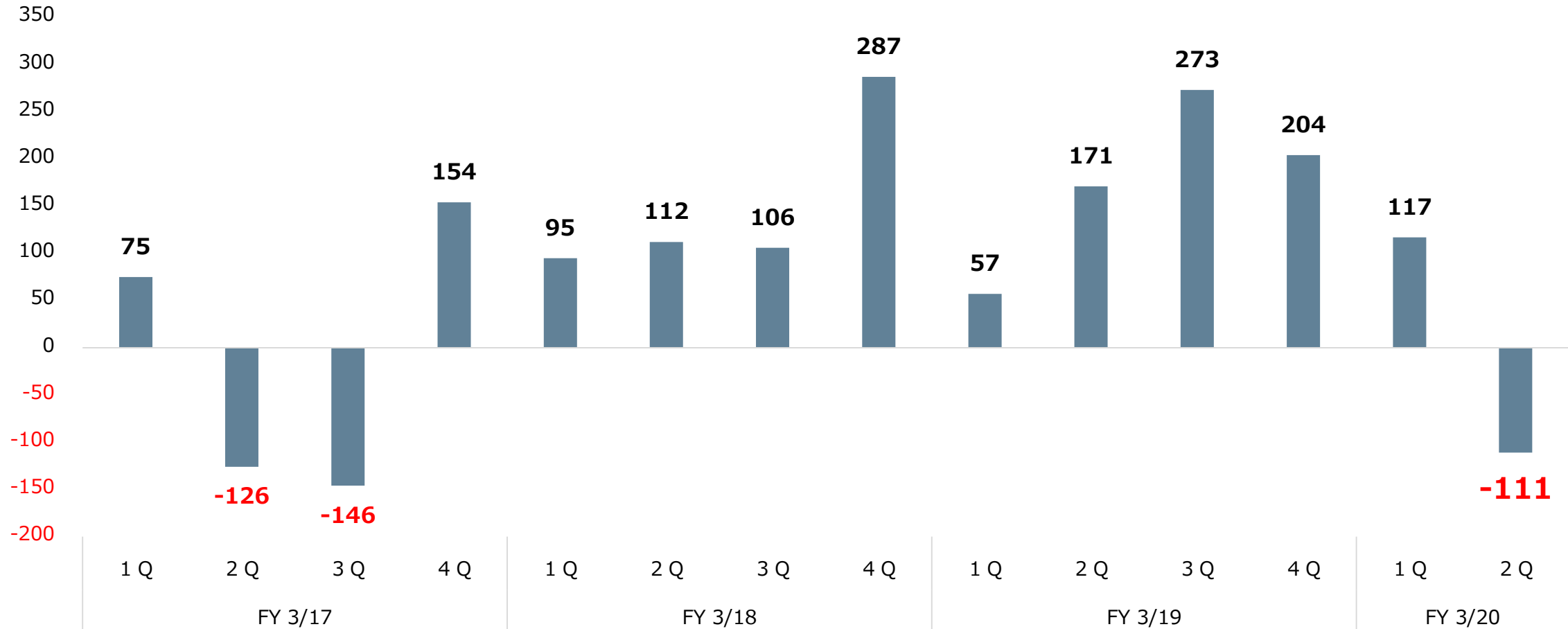


営業利益推移

営業損失は、1億11百万円

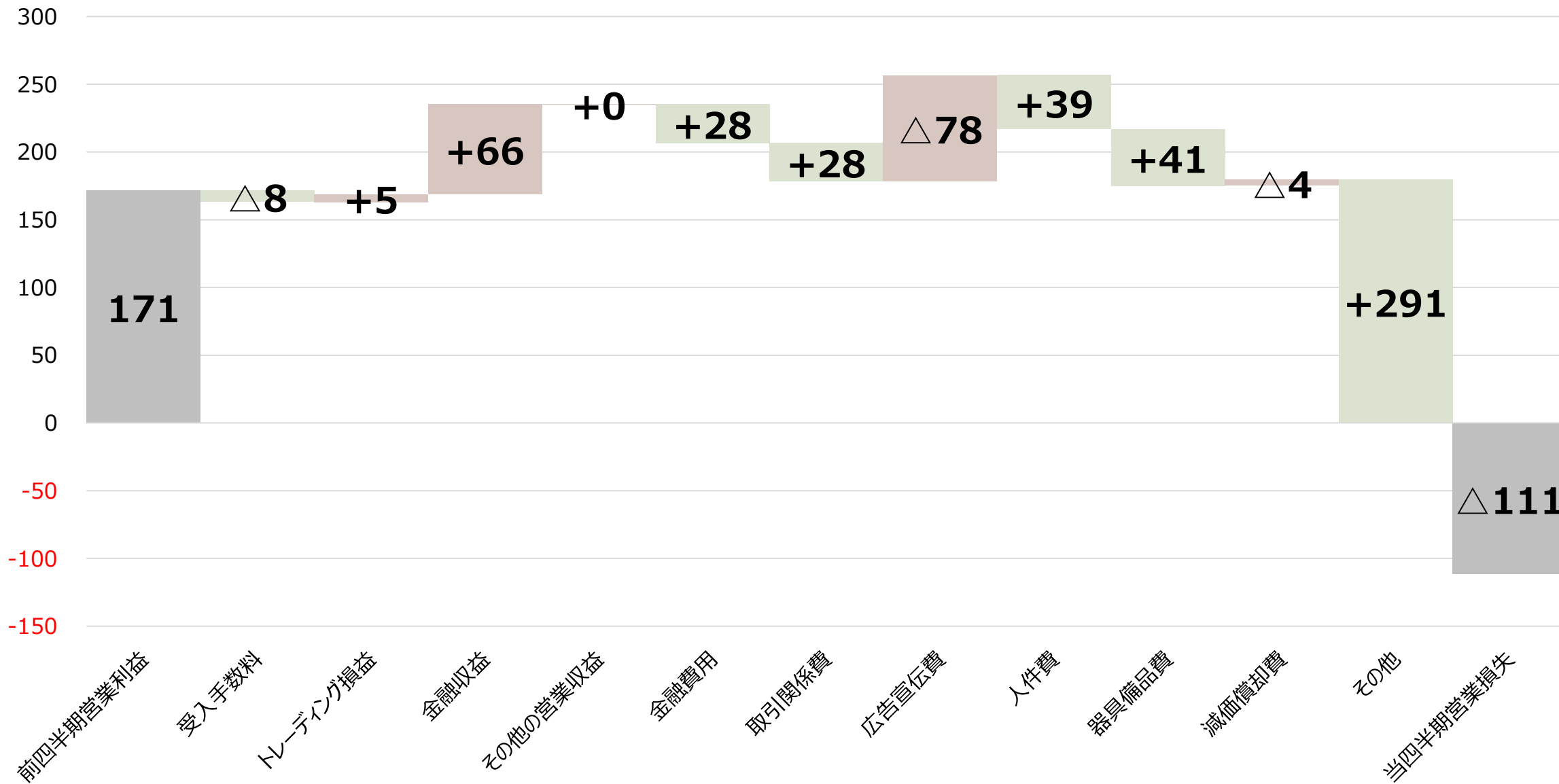
豪州子会社の顧客決済不足金（立替金）の発生に伴うコスト増が利益の圧迫要因

(百万円)



営業利益増減（前年7-9月比）

(百万円)



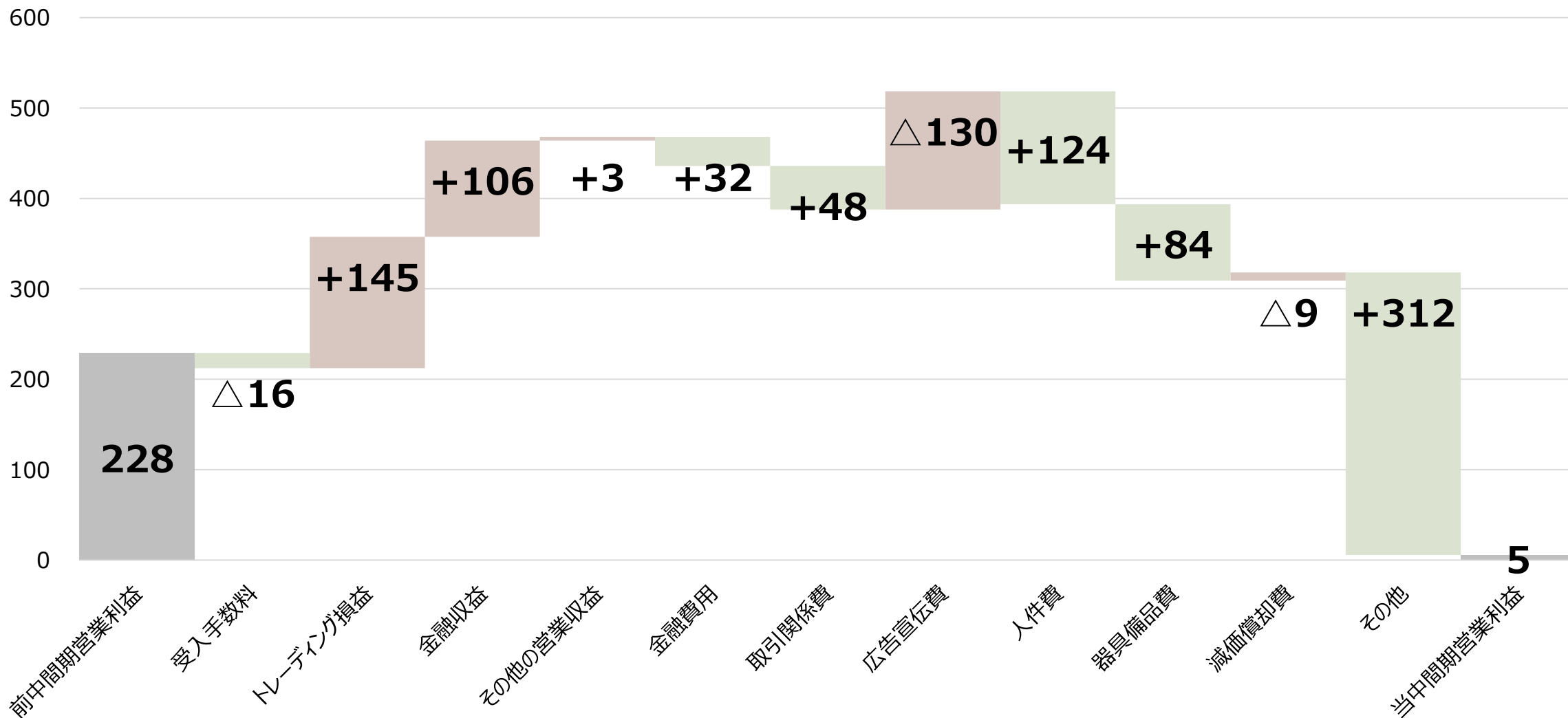
半期決算概要 (2019.4~9)

半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2019年3月期 2 Q (2018.4-9)	2020年3月期 2 Q (2019.4-9)	対前年同期 増減率
営業収益	2,080	2,320	+11.5%
純営業収益	2,008	2,215	+10.3%
営業利益	228	5	△97.6%
経常利益	235	20	△91.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	192	15	△92.0%

営業利益増減（前年4-9月比）

(百万円)

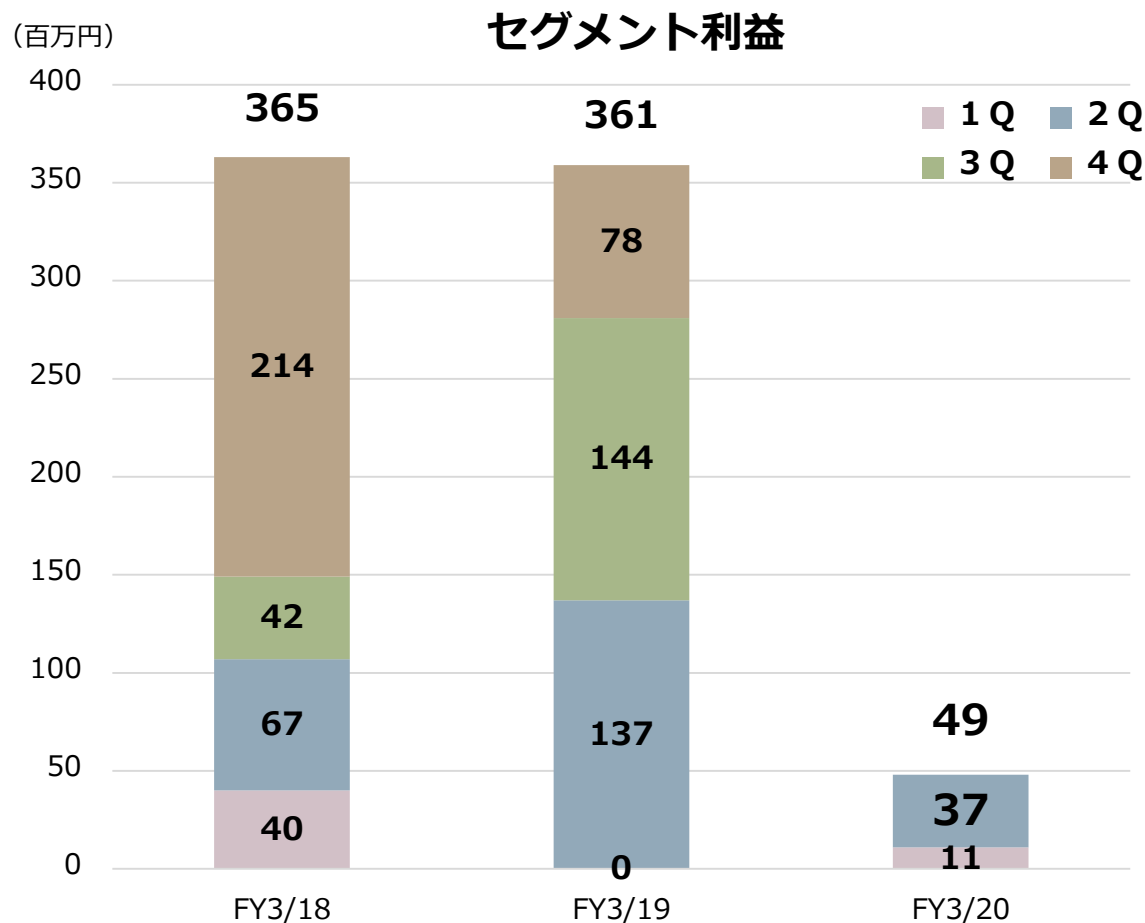
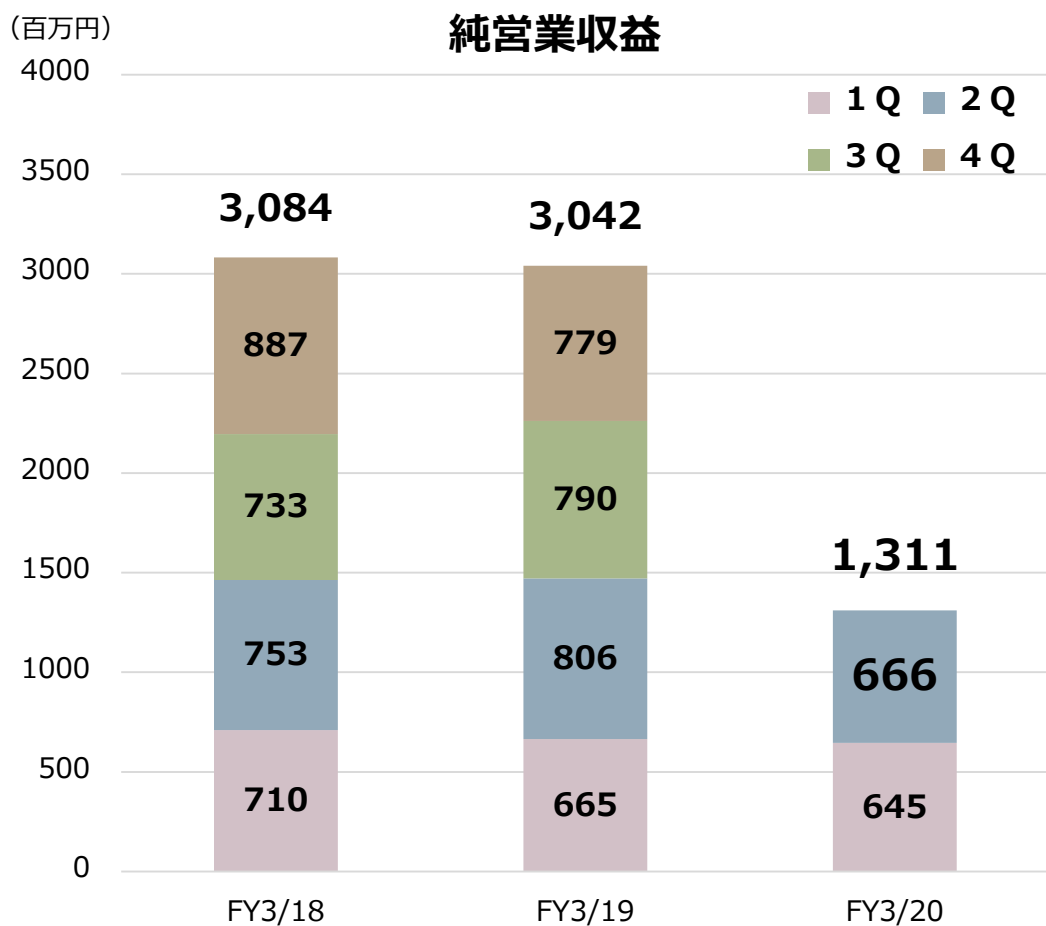


セグメント情報

国内金融事業

国内金融事業

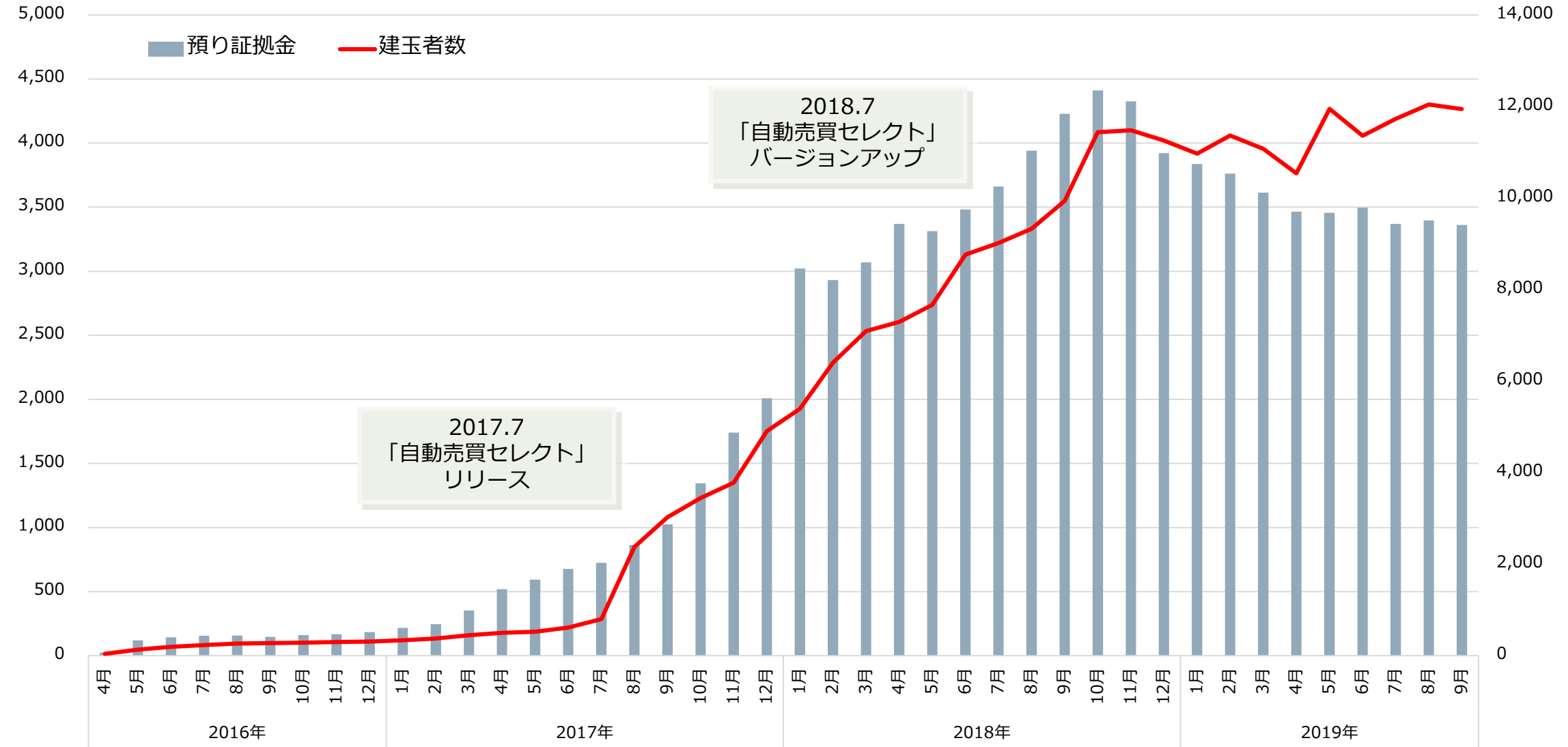
- ・純営業収益は、前年同期比△17.4%の6億66百万円、セグメント利益は、同△72.8%の37百万円となり減収減益
- ・取引システムの安定稼働、システム障害の未然防止のための体制構築を優先し、新機能リリースやキャンペーン等を控えたことで一時的に収益が悪化
- ・システム戦略の見直しには一定の目途が立ったため、今後は積極的な顧客獲得施策を実施予定



【店頭CFD】 預り証拠金・建玉者数

(預り証拠金：百万円)

(建玉者数：人)



【店頭FX】 預り証拠金

(2019.9月末)

19,544

(百万円)

22,000

20,000

18,000

16,000

14,000

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0



裁量店頭FX
「FX24」時代

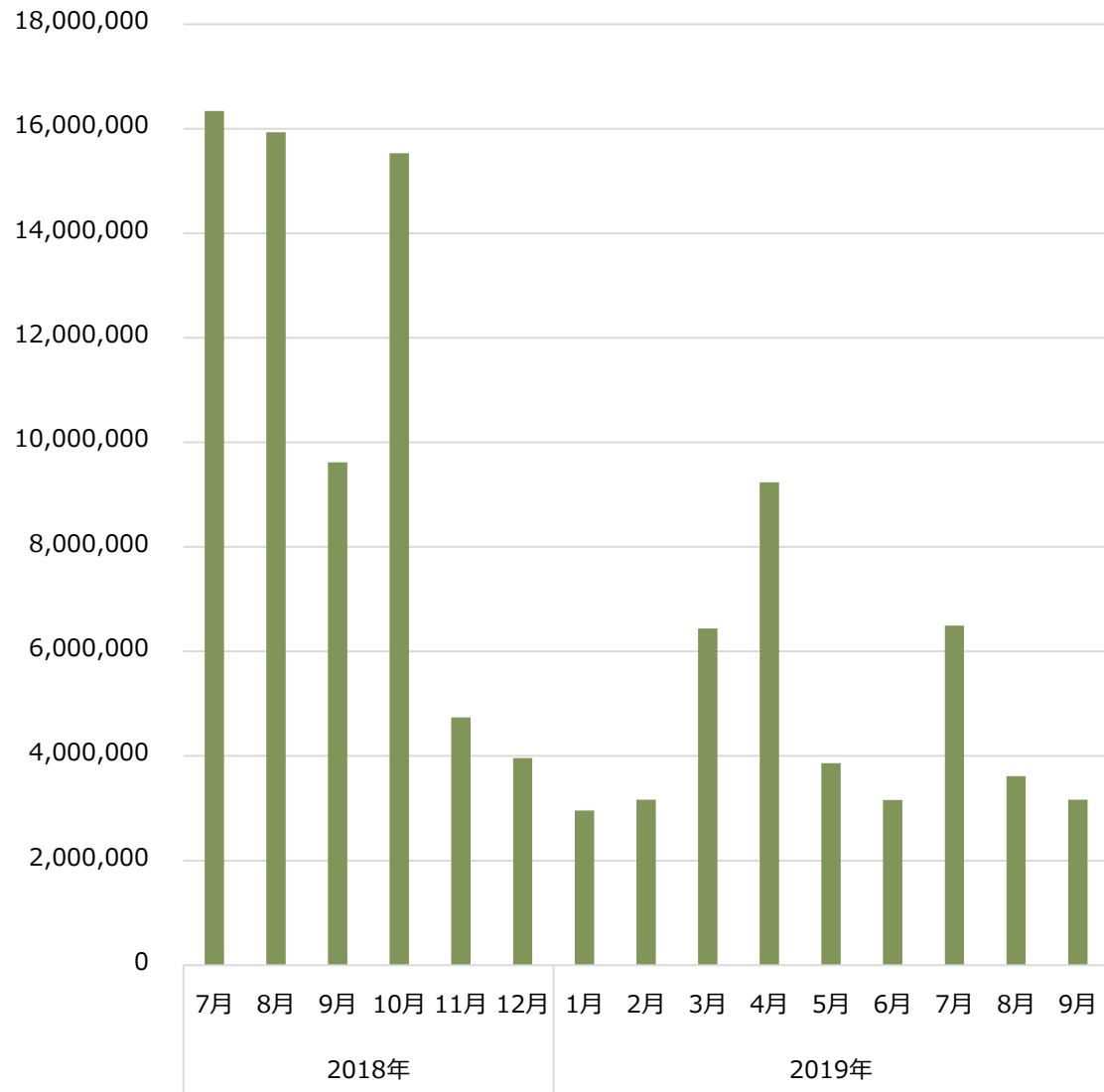
選択型FX自動売買
「シストレ24」拡大期

FX自動売買
「トライオートFX」
拡大期

【店頭CFD/FX】取引高

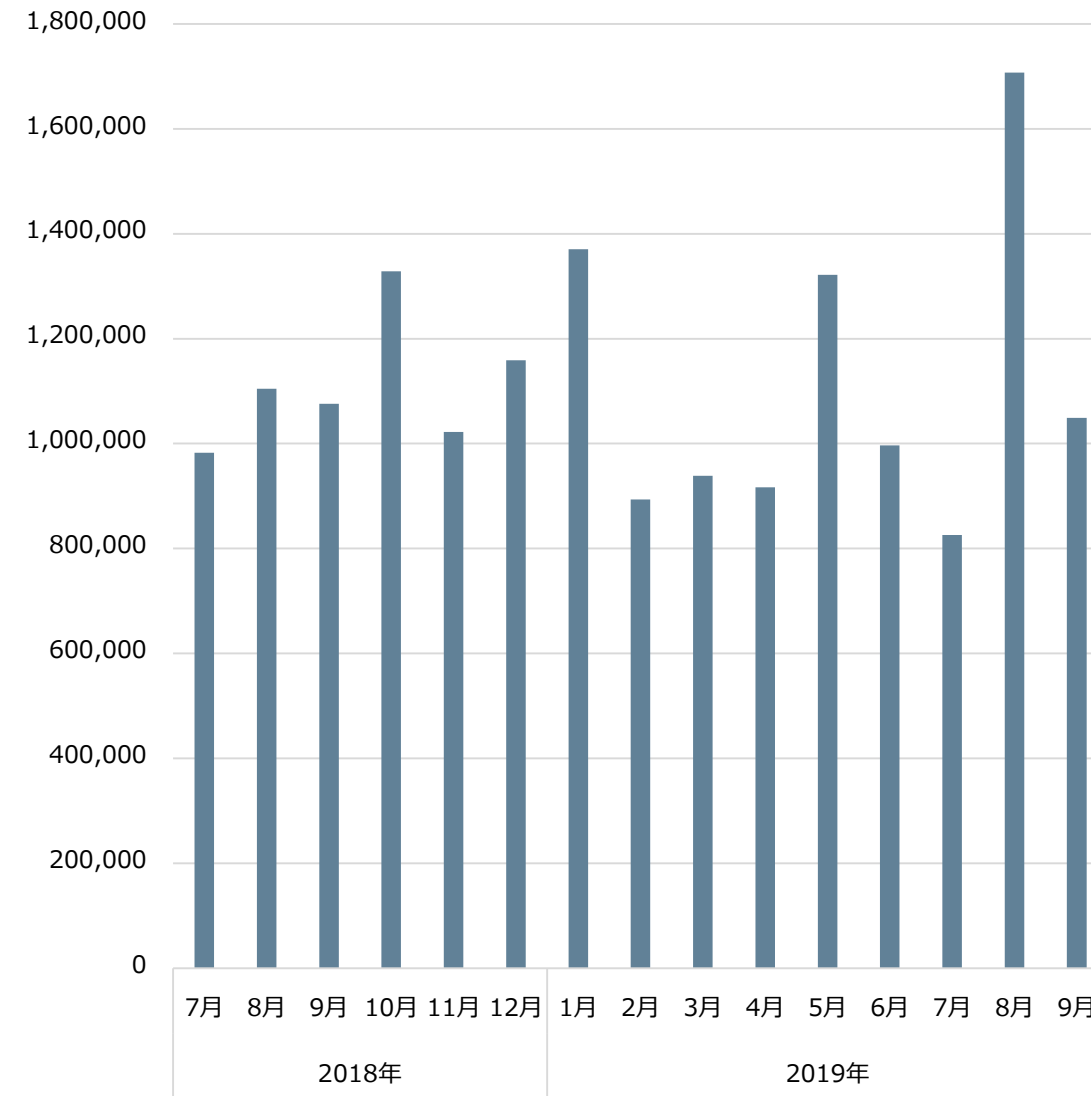
店頭CFD 「トライオートETF」

(約定代金：千円)



店頭FX 「シストレ24・トライオートFX・FX24」

(取引数量：万通貨)

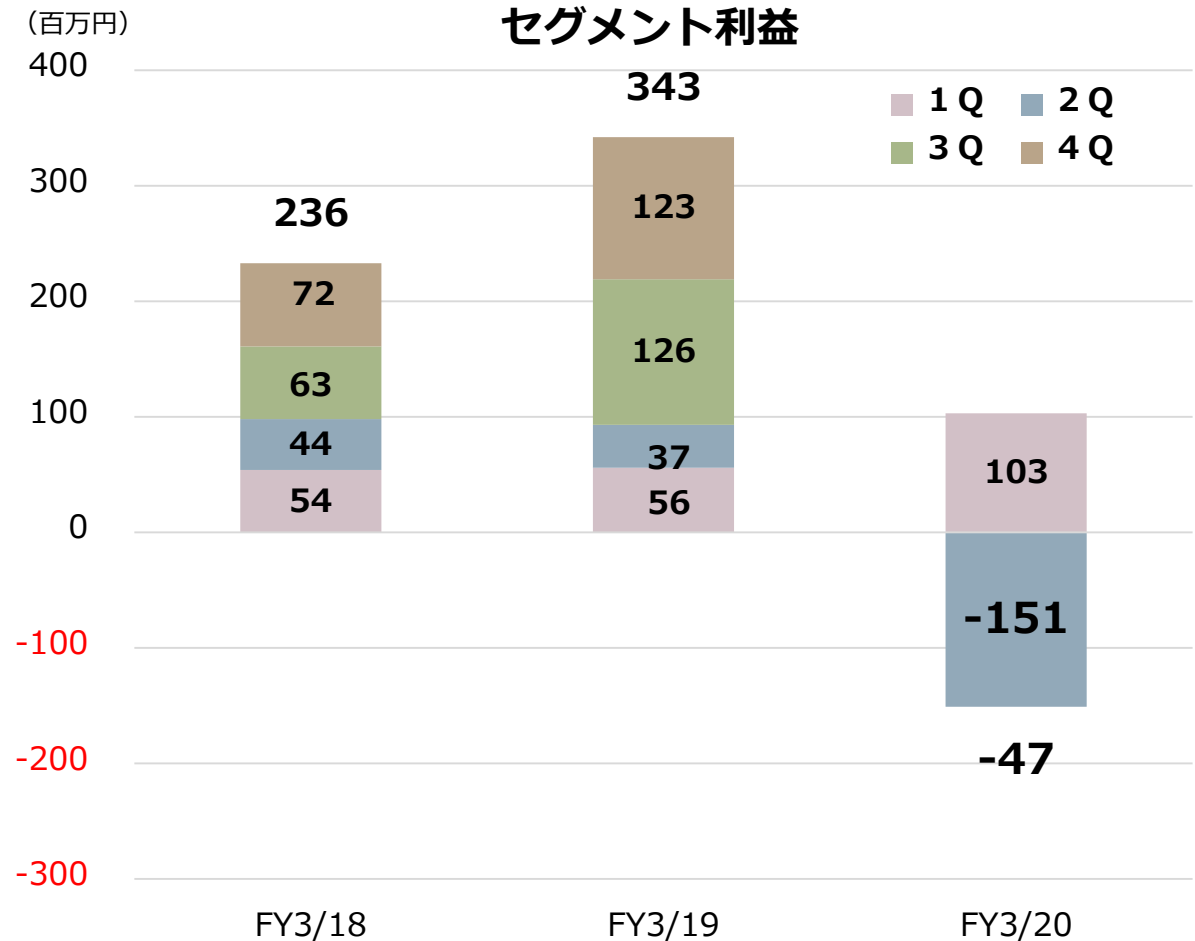
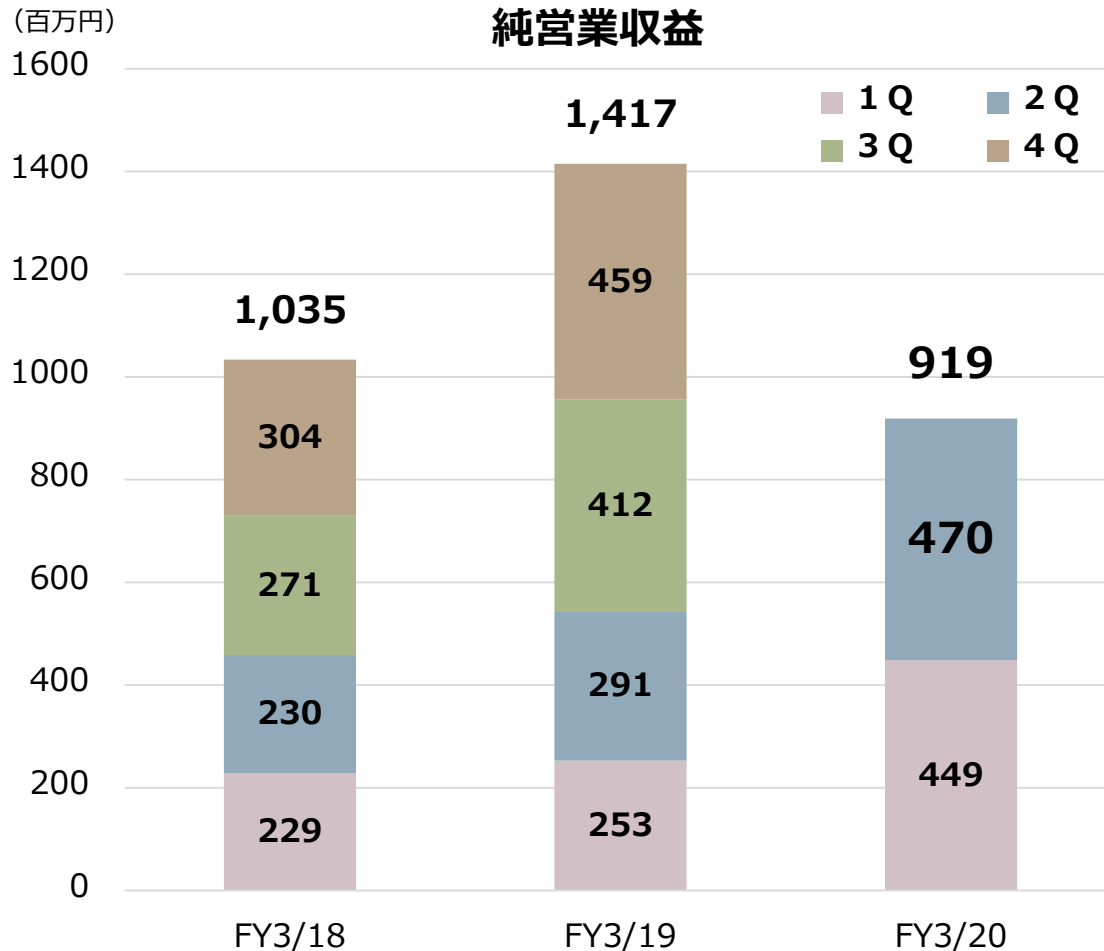


セグメント情報

海外金融事業

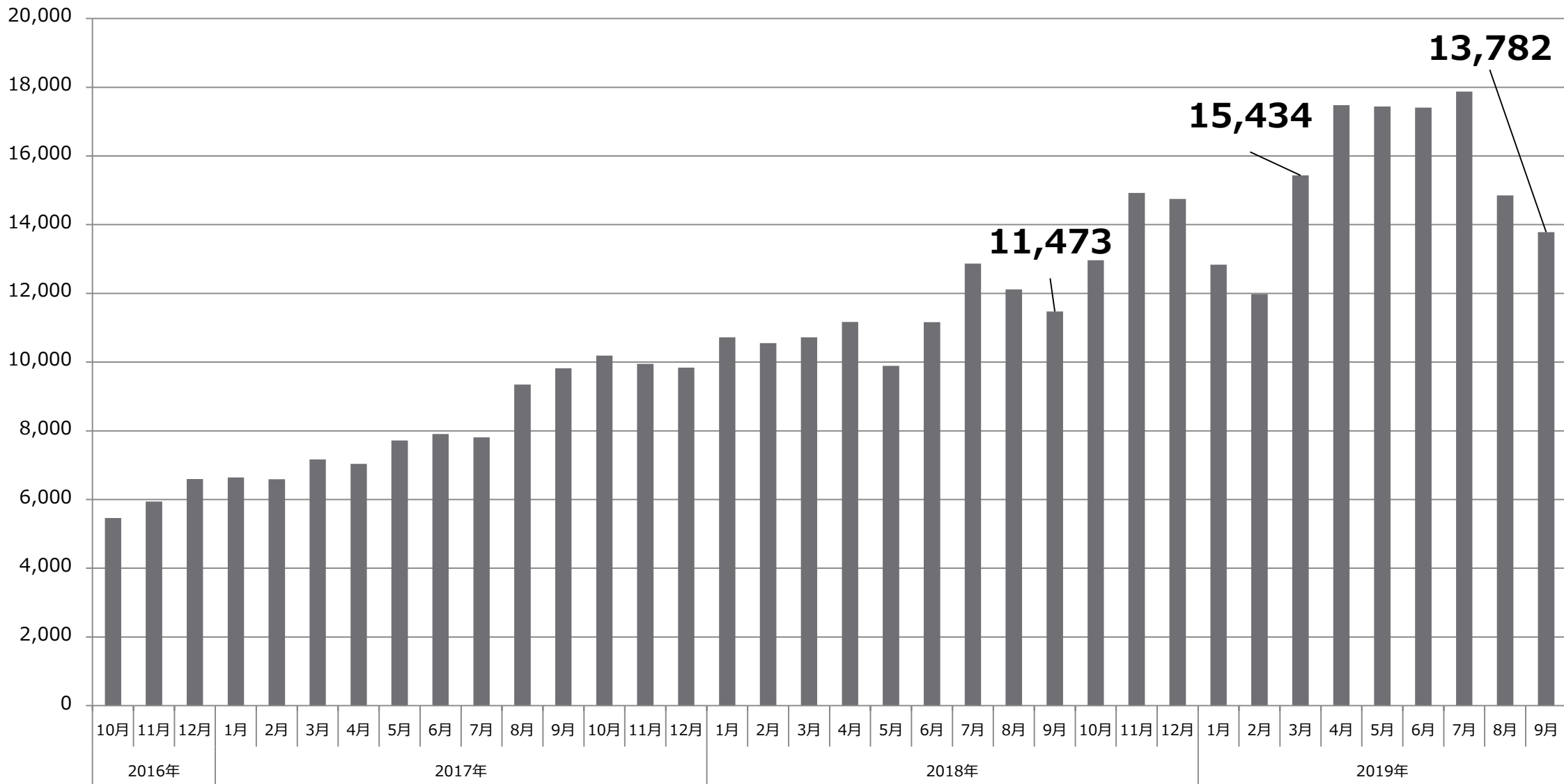
海外金融事業

- 純営業収益は、前年同期比+61.0%の4億70百万円となり、四半期ベースで過去最高を更新
- DMACFD事業において、顧客（法人1社）の決済損に対する不足金（立替金）が発生し、回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額259百万円を販管費に計上
当第2四半期は、セグメント損失1億51百万円となる
- より保守的な必要証拠金維持率の設定、リスクモニタリングの強化等による再発防止策を実施



【IFS】 預り資産推移

(万豪ドル)



經營目標・株主還元

重視する経営指標

当社グループは、収益の源泉であり、「お客様からの信頼の証」である**顧客口座数**、**預り証拠金**に加え、グループ全体の事業活動の成果を示す**連結経常利益**を重要視しております。
また、企業価値の向上を目指し、株主資本を有効活用することが重要であるという認識のもと、**株主資本利益率（ROE）**を重要な経営指標として位置づけております。

	2019年3月期				2020年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
経常利益（百万円）	72	162	251	184	110	△90		

国内金融事業

預り証拠金：713億44百万円

顧客口座数：60万9,712口座

2019年9月末現在

※顧客口座数は、当社の累計開設口座数です。当社では、同一顧客による複数サービスの同時口座開設が可能となっており、サービス毎に1口座として集計しております。

海外金融事業

預り証拠金：1億3,782万豪ドル

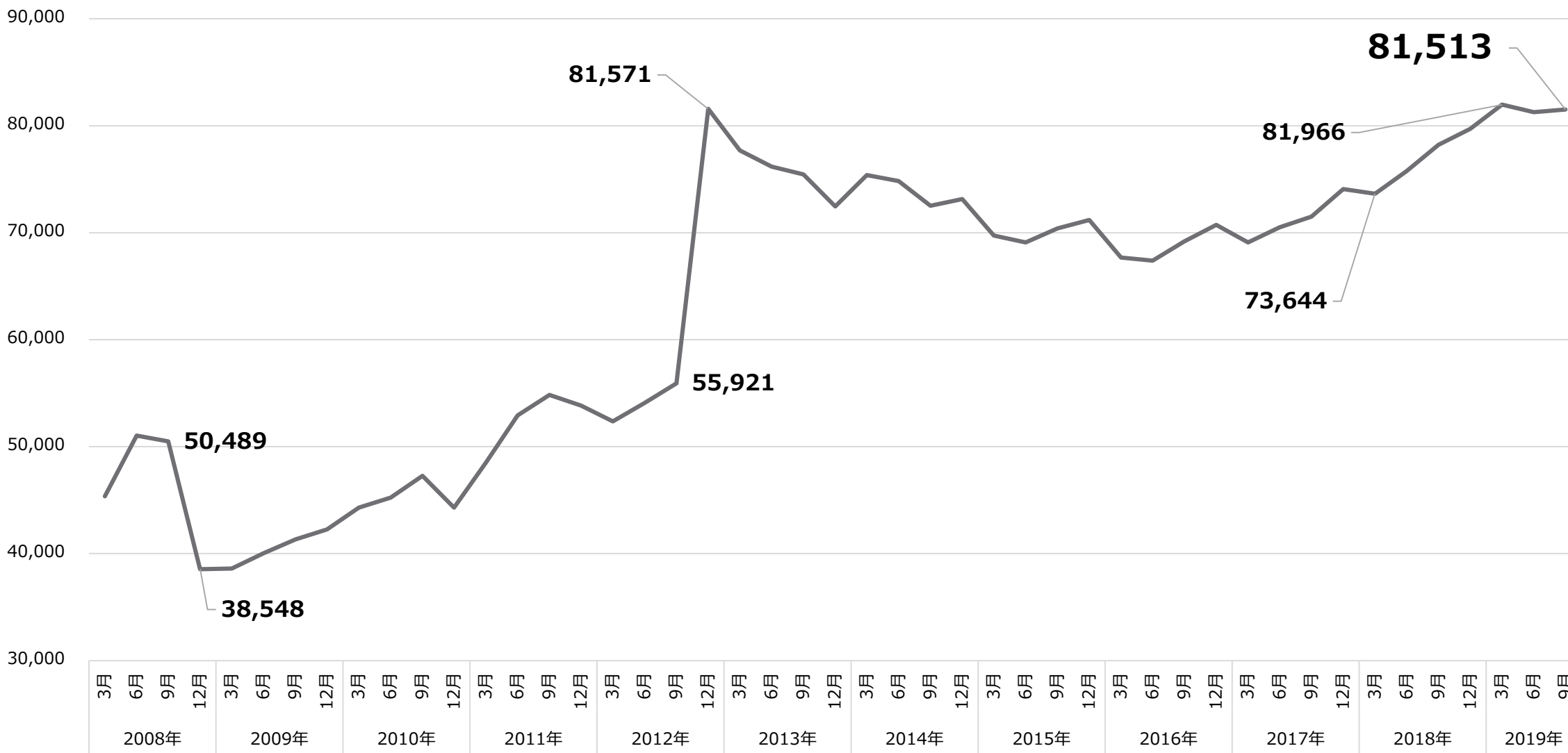
2019年9月末現在

	2019年3月期				2020年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ROE（%）	2.6	3.6	4.6	4.6	3.0	0.3		

※ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

【連結】 預り証拠金推移

(百万円)



(注) 連結子会社 I F S の決算日は12月31日となっているため、連結決算への数値の反映は発生から3ヶ月後となります。
2019年9月末の預り証拠金には、同社の6月末の実績を反映しております。

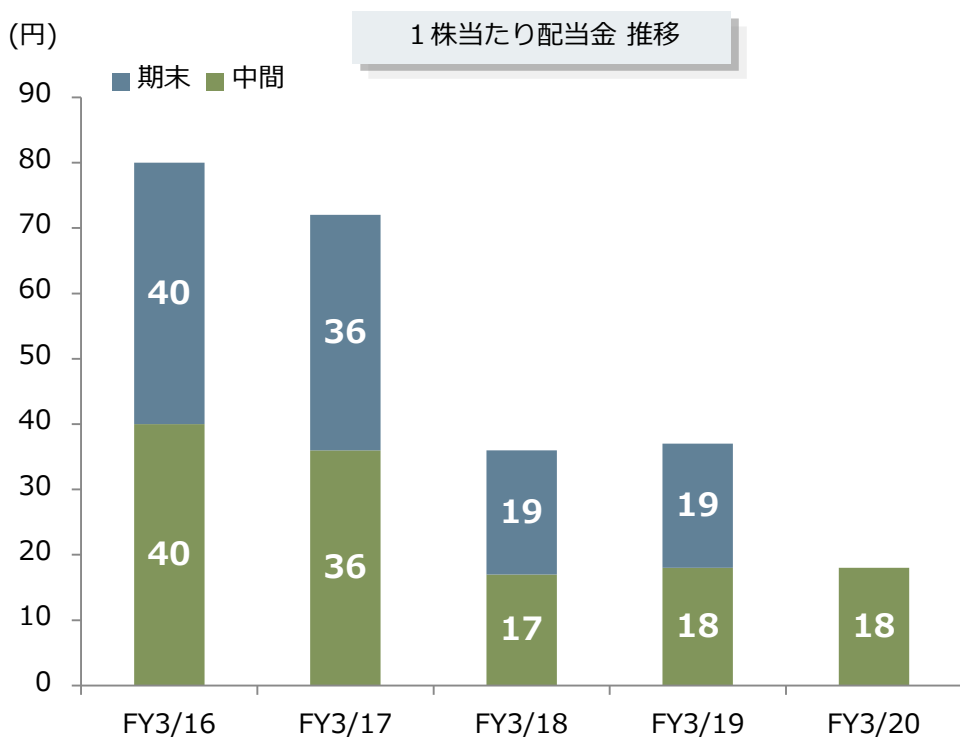
株主還元

◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（D O E）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

◆2020年3月期 配当

中間配当 **18.0円** 期末配当 未定



◆配当の実績

決算期		16/3月期	17/3月期	18/3月期	19/3月期	20/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	40.0	36.0	17.0	18.0	18.0
	期末	40.0	36.0	19.0	19.0	未定
	合計	80.0	72.0	36.0	37.0	未定
当期純利益 (百万円)		△404	△118	597	486	
配当総額 (百万円)		469	422	211	217	
配当性向 (%)		—	—	35.4	44.7	
R O E (%)		—	—	5.8	4.6	
D O E (%)		4.1	4.0	2.0	2.0	
配当利回り (%) ※		5.9	5.5	3.4	4.2	

※各年度末の終値で算出

Mission/Vision ・ 経営戦略

Mission 存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

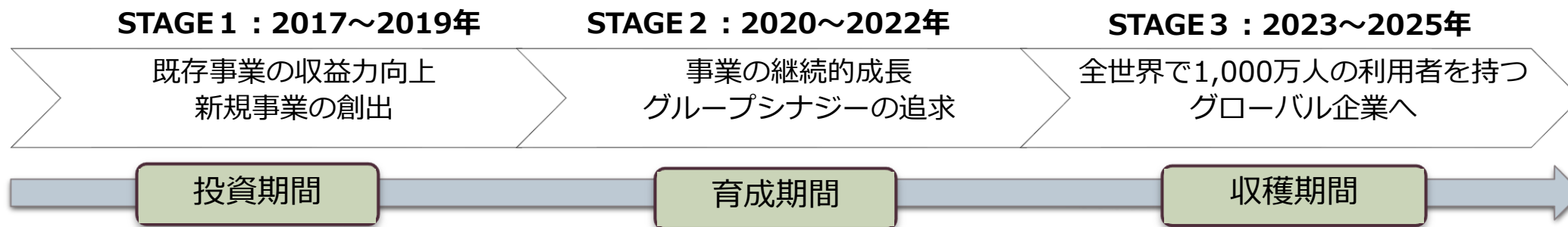
Vision 目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ

金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略 (STAGE1 : 2017~2019年)

① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化 (テクノロジーを活用した自動売買ソリューション)
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、FX事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索
- ・ VCファンド出資を通じたM&A、事業提携等

③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

2020年3月期の重点戦略 ~STAGE1「投資期間」最終年度~

国内金融事業

① トライオート事業の強化

- ・サービスの選択と集中、成長牽引事業へのウェイトシフト（リソース再配分）
- ・競争力の源泉として展開可能なトライオート事業に経営資源を集中投入し、収益モデルの改革を実行
- ・その他のサービスについては、今後の採算性等を判断軸に見極め

② 次期システムの構築

- ・取引サービス基盤としてAWSを利用（取引基幹システムのクラウド移行）
既に移行済みのコーポレートウェブサイト、取引システムに続き、顧客関係管理（CRM）、
帳票管理システム等々も順次移行予定

③ その他

- ・需要が見込める多様な商品ラインナップの拡充
- ・子会社ICMは安定的収益の継続確保に努めつつ、引き続きグループシナジーを模索
- ・強固なリスクガバナンスの確立（3つの防衛線、ITガバナンスの高度化）

海外金融事業

- ・顧客基盤の更なる拡大と収益力維持
- ・世界をリードするノンバンクプライムブローカーとしてのブランド認知の向上

MAiMATE「マイメイト」リリース

強化学習型のAIモデルを活用した無料のFXシグナル配信サービス MAiMATEの提供を開始しました。

MAiMATEは、お客様が4つの選択肢を選ぶだけでAIエージェントを作成することができます。AIコアエンジンには強化学習型のAIモデル(A3C:Asynchronous Actor-Critic Agents)を活用し、マーケットのプライス情報や世界有数の金融市場データのプロバイダーであるリフィニティブ（※）の日本法人リフィニティブ・ジャパン株式会社のニュース集約情報を独自に改良した学習情報を使用します。これまで「正確な価格予測」にフォーカスしがちであった自動売買を、先端の強化学習モデルを活用することで「最適なポジション管理の学習」へと進化させています。自分だけのFXのAIトレードパートナーを生んで育てていくという新しい体験をぜひお試しください。



サービス紹介ページ

<https://www.mai-mate.com>

※特許出願中（特許2019-90376）

※リフィニティブについて

Refinitiv（リフィニティブ）は世界有数の金融市場データのプロバイダーで、190カ国以上で4万社を超える企業・機関にサービスを提供しています。先導的なデータと知見、トレーディング・プラットフォーム、市場データ・インフラストラクチャー、オープン・テクノロジー・プラットフォームを通じて、世界の金融市場コミュニティを相互に接続し、発展を支えます。それによりトレーディング、投資、ウェルスマネジメント、規制およびマーケットデータ管理、企業が抱えるリスク、金融犯罪追跡などの分野において進化をもたらす先駆者としての役割を果たしています。

MAiMATE「マイメイト」リリース

トレーディングは楽しい！でも時に孤独。
あなたと一緒に戦うあなただけのAIパートナー。
それがMAiMATEです。



CREATE : エージェントを作る

エージェントの人工知能は強化学習モデルを採用しています。
取引をしたい銘柄、重視するテクニカル指標やニュースそして
リスクの許容度を選択することでエージェントが生まれます。



SIGNAL : サインを受け取る

1日1回程度の売買サインをメールで通知します。トレー
ド結果の分析や損益チャート等を確認することができます。



EDUCATE : エージェントを育てる

過去1週間のエージェントの売買サインを評価することで
その後の行動に変化を与えることができます。



インヴァスト証券の会社概要 (2019年9月30日現在)

■ 会社名	:	インヴァスト証券株式会社 (INVAST SECURITIES CO.,LTD.)
■ 所在地	:	東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	:	1960年8月10日
■ 資本金	:	59億6,508万円
■ 上場取引所	:	JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード : 8709
■ 代表者	:	代表取締役社長 川路 猛 (かわじ たけし)
■ 主要な事業	:	金融商品取引業 (第1種/第2種/投資助言業) 関東財務局長 (金商) 第26号
■ 加入取引所	:	東京金融取引所

- 本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。
- 掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。